

甲賀広域行政組合消防本部からの情報を発信します！



左から、公立甲賀病院 副理事長 川嶋 剛史 様 本組合 副管理者、谷畑 英吾
本組合 管理者 岩永 裕貴 本組合消防本部 消防長 本田 修二

高規格救急自動車譲渡式 を挙行しました



甲賀広域行政組合消防本部では、高規格救急自動車2台を地方独立行政法人公立甲賀病院、医療法人社団美松会生田病院へそれぞれ無償譲渡することとなり、令和2年1月29日(水)に公立甲賀病院にて、また、2月3日(月)に生田病院にて譲渡式を挙行し、公立甲賀病院副理事長の川嶋剛史様、生田病院理事長の生田邦夫様をはじめとする病院関係方々のご臨席を賜りました。

譲渡式では、本組合管理者である岩永裕貴が挨拶を申し上げるとともに目録を贈呈し、川嶋剛史様と生田邦夫様からそれぞれ謝辞を頂戴しました。

無償譲渡しました高規格救急自動車2台については、本消防本部の車両更新計画に基づき、本年度更新したものであり、本来ならば廃車となるところでありましたが、譲渡の申し出をお受けし譲渡することとなったものです。

公立甲賀病院へ譲渡しました車両については、平成23年12月から、生田病院へ譲渡しました車両については、平成20年2月から運用を開始し、市民の皆さんの安心・安全を守るべく、救急事業を主とした各種災害に出勤し、災害に伴い発生した怪我人や急病人を適切な医療機関へ迅速に搬送するため活用してきたものです。

今回、このような第2の活躍の場を与えていただくこととなり、本消防本部としても大変感謝しているところであり、今後の更なる活躍を期待しております。

更なる活躍を期待して



△▷ 譲渡式の様子



左から、本組合 副管理者 谷畑 英吾 本組合 管理者 岩永 裕貴
生田病院 理事長 生田 邦夫 様 本組合消防本部 消防長 本田 修二

高規格救急自動車

2台を更新



△新 甲賀消防水口救急1

甲

賀広域行政組合消防本部では、車両更新計画に基づき、同組合水口消防署に配備されていた高規格救急自動車の2台を更新し、令和元年12月上旬から運用を開始しました。

今回更新された高規格救急自動車については、半自動除細動器をはじめとした最新式の高度救命処置用資器材を多数積載しており、傷病者を安全かつ迅速に搬送するための設計となっております。

この更新に伴い、平成23年12月から現在に至るまで地域の救急事案で活躍してきた湖南中央消防署の更新前の高規格救急自動車(旧甲賀消防甲西救急1)については、現に移動する高規格救急自動車の車検や整備、あるいは、大規模災害や集団災害が発生した際に運用する非常用救急車として本消防本部に移管配備されました。

今後、高齢化が進み、ますます救急要請の需要が高まることが予想されます。本消防本部では、これらの車両や資器材を有効に活用し、住民の皆さんの安心と安全を守るため、救急業務のサービスと救命率の更なる向上を目指してまいります。



△新 甲賀消防甲西救急1

～車両主要諸元～

全長	5,650mm	全幅	1,890mm
全高	2,490mm	車両総重量	3,195kg
排気量	2,690cc	乗車定員	7名

※ 更新車両2台ともに、同じ仕様となります。